

**製品名: NDUFS3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14516**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	40kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NDUFS3
別名	NDUFS3; NADH dehydrogenase [ubiquinone] iron-sulfur protein 3; mitochondrial; Complex I-30kD; CI-30kD; NADH-ubiquinone oxidoreductase 30 kDa subunit
遺伝子 ID	4722.0
SwissProt ID	O75489
免疫原	抗血清はヒト NDUFS3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 117-166

**背景**

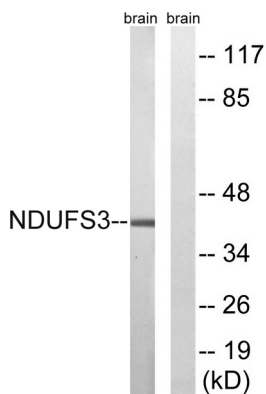
この遺伝子は、ミトコンドリア NADH-ユビキノン酸化還元酵素（複合体 I）の鉄硫黄タンパク質（IP）構成要素の 1 つをコードす

る。この遺伝子の変異は、ミトコンドリア複合体Iの欠損に起因するリー症候群と関連している。[RefSeq 提供、2009年4月]、触媒活性:  $\text{NADH} + \text{受容体} = \text{NAD}(+) + \text{還元型受容体}$ 、触媒活性:  $\text{NADH} + \text{ユビキノ} = \text{NAD}(+) + \text{ユビキノール}$ 、機能: ミトコンドリア膜呼吸鎖 NADH 脱水素酵素 (複合体 I) の中核サブユニットであり、触媒作用に必要な最小限の複合体に属すると考えられている。複合体 I は、NADH から呼吸鎖への電子伝達に機能する。この酵素の直接の電子受容体はユビキノンであると考えられています。類似性: 複合体 I 30 kDa サブユニット ファミリーに属します。サブユニット: 哺乳類の複合体 I は 45 の異なるサブユニットで構成されています。

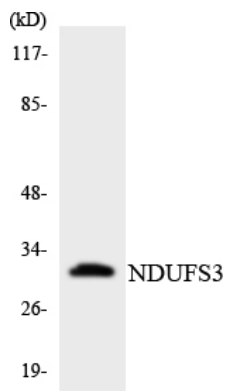
## 研究分野

酸化的リン酸化、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

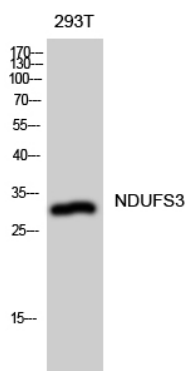
## 画像データ



NDUFS3 抗体を用いたマウス脳ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



NDUFS3 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 500 に希釈した NDUFS3 ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析

